

■第3回新産業の森西部地区 まちづくり説明会意見聴取一覧（25.03.17㍻）

意見聴取で寄せられたご意見		意見の分類
質問1.ゾーニングの考え方(案)や概念図について、ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。		
1-1.	・住んでいる場所が遠いため、開催場所までに時間がかかり、場所もよくわからず。皆さんの意見を尊重して賛成します。	賛成意見
1-2.	・概ね良いと思う。	賛成意見
1-3.	・知識の無い自分にとって大変分かりやすく見やすいと思いました。	説明資料
質問2.ゾーニング図(案)について、ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。		
2-1.	・現状の(案)で進んでいって欲しいと思います。	賛成意見
2-2.	・西部地区(特に天沼地区)は葛原綾瀬線と谷戸、乗福寺、新幹線の高架と通る道(通学路)を中心にして、長い間運営されて来ました。今の計画では、この両道に挟まれた土地を産業ゾーンにし、今ある住宅を移転させ長い間一体化してきた住民と寺墓を分断し、代わりに実態の分からぬ産業を引き込み、加えて遠路の通学に苦勞している生徒たちを交通事故、排気ガスという危険にさらさせるということは全く理解できません。この地の産業ゾーンは是非、取り止めていただきたい。	産業ゾーン
2-3.	・産業ゾーンと生活ゾーンに分かれ利便性が高まって良いが、もともと生活している家が多い所を産業ゾーンとするのは非効率と感じる。若い世代・子ども世代のことを考えると良いが、スーパー・ドラッグストア等が無いのは。	産業ゾーン・住宅ゾーン 地区生活拠点
2-4.	・西部地区の一部家庭が遠距離通学を避けるため、綾瀬市へ転校願いをしたが断られたことがあります。天沼からの弱年層の通学は、山あり谷あり、御所見の中で最も大変な地区と考えます。移転により西側から東側に移る人は 500m～1km ほど学校から遠くなります。この移転は生徒虐待になり、止めて欲しいと思います。“お墓が大切だから動かさない”と主張されますが、生きている人の方が大事。より重要なことは、将来を背負うべき子どもたちへの配慮です。今でも大きい遠距離負担を増やすことは、絶対避けるべきです。	通学路
2-5.	・商売として遠藤葛原線の交通量が多くなるので、店舗をこの道路になるべく面した形及び車が入りやすい駐車場にする。	地区生活拠点
2-6.	・新幹線の騒音振動の軽減。居住者の了解が必要だがこの公害を減らすため、新幹線の脇 30mを道路とし、産業ゾーン専用とし、一般道路の混雑を軽減させたいかがか。	道路・交通
2-7.	・最近、家庭菜園希望者が増えている。農地 50 坪～100 坪と制限し住宅地と合わさった土地を作ってはいかがか。一昔はこれが普通、国は難しくしてしまった。	農地
2-8.	・葛原スポーツ広場の川の合流場所は、氾濫が多い。下流の川幅を広げる。 ・地区生活拠点の隣の調整池は、場所がもったいない。公園と調整池を入れ替える。	調整地
質問3.まちづくりのコンセプト(案)について、ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。		
	(ご意見なし)	—

■第3回新産業の森西部地区 まちづくり説明会意見聴取一覧（25.03.17㍻）

質問4.その他、ご意見・ご要望・ご質問がありましたら、ご自由にご記入ください。		
4-1.	・女坂スポーツ広場や葛原スポーツ広場は登録した者、あるいは予約した者しか入れないのか？門にカギがかかっていたりして、せっかくの広場なのに利用できない。	公園・スポーツ広場
4-2.	・新たに公園やスポーツ広場を整備と記してあるが、子どもから大人まで楽しめるパークゴルフなどがあるといいなと思います。	公園・スポーツ広場
4-3.	・新たな公園でバーベキューはいかがなものか。煙等で空気が悪くなる。	公園・スポーツ広場
4-4.	・葛原スポーツ広場は器具が無い。他の市の公園は体力づくり等を考え、色々な器具が揃っており年配の方もよく利用している。	公園・スポーツ広場
4-5.	・あずまやは不要。	公園・スポーツ広場
4-6.	・西部地区(面積、人口で80%位が天沼か?)の地勢状況について、新幹線整備の土盛りにより地形が変わったが、元々西側は山林や畑の高台で、東側は田んぼが主体の低地だった。西から東に流れる堀(下水路)が、バス通りと交わる前後で5～6本の小川(下水路)と合流し東に流れる。この地帯は水はけが悪く、雨が降ると水があふれる。要はこの地点から南西側は住宅地に適すが元々沼地で、田んぼの東側は住宅地に適さないことから「天沼」と言った。 ・関東大震災でも、この地は被害が大きく、我家でも伯父が死亡、祖母と父が長期入院となる大被害でした。今の計画(天沼の西半分の高い所を産業ゾーンにする)でやると、雨水が一挙に流れ、バス停付近で洪水が生じる。今でも年2～3回洪水が生じ、土を下流に流します。これが計画通り実行されたらバスは止まり、通学もできなくなります。過去2回起きた経験があり、昔の人が言った「天沼を甘く見るな」を思い出します。これを防ぐ方法は、西の方に山林を切り開き目久尻川方面に水路を造ることですが、簡単ではない。また、今の小川の下流に貯水池を造るという考え方ですが、上流の天沼で溢れているのを止めることは難しいと考えます。要は“自然の貯水池を破壊するな”です。	地勢
4-7.	・山林を保有する者です。現在ある緑地や樹林地の保全とあるが、年齢的にも保全が困難であると思われるため、土地の買い上げでの開発を考えていただけるか？	事業手法
4-8.	・今後、このエリアが市街化区域になった場合、他の地域の市街化編入はあるのか？この地域が“ポツンと一地域”で取り残される可能性がある。わざわざ税金の高い所で住みたいと言う人がいるか、今後がとても心配である。(土地が高いのに買いたい人はいるのか?)市民センター周辺で市街化編入の話しが中止になったとありましたが、どのような理由で中止になったか回答をお願いします。	事業手法 まちづくりに関する質問
4-9.	・民家の移転は何軒と予想しているか。人の住んでいる民家を特別な理由(災害による生命危機等)無くして移転させることは、昔の陸軍でも簡単にやらなかった暴挙。本人の了解と十分な補償を考慮願いたい。	まちづくりに関する質問・要望
4-10.	・木目細かなゾーニングをやって欲しい。産業ゾーンと言っても、煙を出すものや音を出すもの、病院、学校と多々あり、住民が良いのか悪いのか判断できるようコンピューター時代なので知恵を使って欲しい。カテゴリーを細分化(どういう産業なのか環境悪化にならないか)出来ないか、前例がないなどと言わず、市が得意な他所に先んじてやって欲しい。	まちづくりに関する要望
4-11.	・西部地区に市のゴミ焼却場建設の計画はないのか？昭和34年、藤沢市に合併以来、葛原地区は市のゴミ処理場として、何度も被害に合ってたので念のため。	まちづくりに関する質問
4-12.	・住民重視の方針を貫いて欲しい。 ・資料を見て感じることは、産業重視(土地を大きく所有する人重視)で、多くの住民に移動を強い、緑、みどりと言いながら、緑を減らす、住民軽視型・環境軽視型である。 ・資料P7右下、「反対者が多く事業実施の見込みが立たない」場合は「まちづくりは実現しない」とあるのは、おどし行為であり、民主主義に反する。 ・反対者が多くても、賛成者がいる場合は、良く検討して実行すべき点は実行するのが民主主義である。すぐやらないは短絡的。	まちづくりに関する要望・意見

■第3回新産業の森西部地区 まちづくり説明会意見聴取一覧（25.03.17㍻）

質問4.その他、ご意見・ご要望・ご質問がありましたら、ご自由にご記入ください。		
4-13.	・市主体の考えに基づいたプランで話が進んでいる。「①産業地域にしたい・②土地の資産価値が高まる・③公共施設が整備される」 ・住民「①現状不自由は無い・②資産価値は上がってほしくない・③良い話は無い」	まちづくりに関する意見
4-14.	・皆さんが今検討しておられる諸事項が実行に移される 10 年後頃には、社会・経済状況、人口減少、高齢化、コンピューターのさらなる発展等により、今の結論が時宜に全く合わなくなるかも知れません。その時には、市の面子などにはこだわらず、原点に立ち戻り住民の要望を基に再出発していただきたく、お願いいたします。	まちづくりに関する要望
4-15.	・街路樹は倒木の恐れがあるのでやめて欲しいです。	まちづくりに関する要望
4-16.	・毎回、詳細にわたる資料による説明を聞き、大体の構図は理解できておりますが、例えば、P29 の図によると「これはイメージ図であり実際のまちづくり計画ではない！」などまだまだ不安が多く分かりづらいです。	まちづくりに関する意見
4-17.	・私宅は、産業ゾーンに入っています。いずれ決められた住宅ゾーンに移転することを聞き、ますます高齢になるため、今後思いもかけないことになる考えると戸惑うことばかりです。全面的に対象となるこの地域で、もう少し具体的なことを伺いたく、天沼公民館にて説明会を希望します。よろしくご検討お願いいたします。尚、このような土地開発が進む中なのに、乗福寺参道に先日住宅が建築されました。いずれ移転にならないのでしょうか、何故許可？	まちづくりに関する要望・質問
4-18.	・今回の資料3はわかりやすく作られていて、大変良かったです。土地の売買などの知識がないので、これからも素人に分かりやすい資料や説明をお願いいたします。	説明資料